

共産党、民主党、社民党が連帯あいさつを行い、維新の党のメッセージが紹介された長野駅前での行動＝6日、長野市



# ぼくしゅけ立つ

「僕らが主権者って知らなくて委員会」  
長野県内3市で

## 4野党連帯

長野県内の青年でつくる「僕らが主権者って知らなくて委員会(ぼくしゅけ)」が6日、佐久市、上田市、長野市の3会場をまわり、スタンディングデモで戦争法廃止を訴えました。延べ80人余が参加しました。

スピーチでは「何もしていないと『嫌だ』と思っただけでも賛成することになってしまふ。一人ひとりが主権者として考えよう」「戦争法廃止まで、一緒に声をあげ続けよう」「テロと空爆の暴力の連鎖では解決しない」などと訴え、コールも行いました。

え、自分の言葉で伝えられた」と参加した学生。21歳の青年は「戦争法成立後2カ月たつので、しらけた反応かと思っていたが、通行する車から反応があっただけ良かった」と語りました。28歳のぼくしゅけメンバーは「僕たち若い世代が発信している姿を見てもう一つ、政治について発言するハードルが下がると思う」と語りました。

長野駅前では共産党の生田光長野市議と民主党、社民党から連帯のあいさつがあり、維新の党のメッセージが紹介されました。佐久会場では藤岡義英、上田会場では高村京子両共産党県議が連帯のあいさつをしました。

準備してきた小金沢由佳さんは「事前に訪問や電話で各党にあいさつをお願いした。長野会場では、各党のスピーチに『うた』の声もかけられ、野党が協力して、自民党を倒したいということが目に見える形で示せてよかった」と語りました。

# 戦争法廃止 若者次々マイク